

記入日 2025 年 10 月 28 日

一般社団法人日本薬学生連盟 2026 年度執行部立候補申請書

立候補者氏名	佐野日向子
立候補する役職	国際渉外統括理事
大学/学部/学科	昭和薬科大学薬学部薬学科
学年	4 年
所属	国際渉外部
日本薬学生連盟 での活動経歴	2024 年 8 月 WorldCongress 韓国 参加 2025 年 3 月 年会 参加 2025 年 8 月 World Congress ケニア 参加 その他海外とのコラボイベント参加
立候補動機	・前任者の推薦 私が国際渉外統括理事に立候補した理由は、今まで海外イベントに参加して、海外とつながる楽しさと学びの大きさを私自身実感し、みなさんにもその魅力を知っていただきたいと考えたからです。世界中の同年代の薬学生が、国や言語、文化に関わらず親睦を深め、積極的に活動している姿を見てきました。そのたびに、彼らの優秀さに圧倒され、私もその一員として多くの人にこの楽しさを伝えていきたいという思いが強まりました。そして、豊かな国に生きる私たちがなぜ海外に行く必要があるのか、その意義について国際渉外部を通して伝えていきたいと思います。今まで会員としてイベントに参加してきましたが今後は統括理事として、みなさんさんが一歩踏み出せる場を提供していきたいです。 海外の団体と比べ、日本薬学生連盟は会員数の少ない小さな団体です。そのため、人数的な面でも課題が多くあり、積極的なイベント開催が難しい状況となっています。今後、団体が継続的に活動をしていくためにも、団体人数の増加を目指し、広報活動も行っていきたいと考えています。私が国際渉外部に所属してから、日本に関わらず、海外の団体の運営に関わる方々と話す機会がありました。イベントの中では楽しそうに学生らしく話していても、実際は何百、何千の会員を持つ団体を率いている責任を果たす姿も目の当たりにし、彼らに対する尊敬の念も、今回の立候補のきっかけとなっています。
問題点と改善案	国際渉外としての問題は、国際イベントの参加者の減少、アクティブレポートの提出が滞っていること、後任の不足等です。これらを解決するために、まず各部署と連携し、広報活動を行うことで会員数の増加を図ります。さらに、団体内で海外イベントの広報活動を積極的に行い、その楽しさを伝えていくことで、英語という壁を崩してイベント参加率を高めることができるのではないかと考えます。また、日本の団体として受け身の活動ではなく、今まで得た海外とのつながりを糧に、積極的なイベント開催を行っていききたいと思います。
活動計画	4 月 ・新歓 ・WC の広報活動 5 月 ・WC の広報活動 6 月 ・海外団体とのコラボイベント(仮) 7 月 ・APPS 参加 ・テスト休み 8 月 ・WC 参加 9 月 ・APPS、WC の報告会 10 月

	・年会の広報活動 11 月 ・団体内他部署との交流(仮) 12 月 ・年会準備 1 月 ・年会準備、テスト休み 2 月 ・韓国、台湾の年会参加 3 月 ・年会の開催 ・後任者への引き継ぎ
所信	私にとって日本薬学生連盟での活動は、コロナで失った夢を取り戻すきっかけとなりました。数年前の私では想像もできないほど、積極的に人とのつながりを求め、自分の脚で現地に向かい、その地の文化、人の温かさ、自然に触れ、なにより日本の素晴らしさを知ることができました。また、英語での会話におびえることなく、失敗を恐れないようになりました。このように私が変わることができたのは、海外のイベントに参加し、人に恵まれたからこそだと感じています。みなさんの中にも、海外に行く意義がまだ見つかっていない方や英語での会話に怖さを感じている方がいらっしゃるかもしれません。そんな方々に、海外に行く楽しさと新しいつながりを作る大切さを伝え、「行ってみたい」と思ってもらえるように積極的な活動をしていきたいと考えています。今まで一会員として活動してきましたが、来年度は統括理事として、部署の活性化、さらに団体の発展と普及に貢献したいと考え、国際渉外統括理事に立候補いたしました。